

公益財団法人庭野平和財団 御中

国際協力 N G O 次世代リーダー育成事業
2011 年度 最終報告書

平成 24 年 5 月 21 日

特定非営利活動法人 国際協力 NGO センター

目次一覧

1 . 2011 年事業の概要	2
2 . 2011 年度実施内容	3
2 - 1 全体共有会	3
2 - 2 助成対象者報告会	3
2 - 3 助成対象者モニタリング	4
2 - 4 開催実績	4
3 . 所感	5
アンケート結果	7

1 . 2011 年事業の概要

2005 年より実施してきた「国際協力 NGO 次世代リーダー育成事業（以下、本育成事業）」としては今年度が最終事業年度となり、主に本育成事業の成果及び教訓を共有することを目的とした全体共有会を開催した。

全体共有会では、本育成事業の助成対象団体として選ばれた 8 団体より、助成対象期間 2 年間に実践した「資金的自立計画」の活動実績や成果について発表いただいた。全体共有会の主な参加対象者は、本育成事業に過去参加した団体（及びその団体のスタッフ）に限らず、より多くの方と経験を共有するため、NGO スタッフ以外に対しても広く参加を呼びかけ、その結果、将来的に NGO で勤務を希望する一般の社会人や学生など、多様な層の参加者を集め実施することができた。また全体共有会にあわせて、2009 年度助成対象団体 2 名の報告会も実施した。

年度		事業内容	助成
2005 年度 1 年目	人材育成 5 年計画	初年度研修の実施 (パイロット的位置付け)	2005 年度助成選考・決定
2006 年度 2 年目		パイロット研修の検証と改善 本格的研修の実施	2005 年度助成実施 2006 年度助成選考・決定
2007 年度 3 年目		研修の改善・実施	2005 年度助成実施 2006 年度助成実施 2007 年度助成選考・決定
2008 年度 4 年目		研修事業中間評価 研修の改善・実施	助成事業中間評価 2006 年度助成実施 2007 年度助成実施 第 4 年度助成選考・決定

2009 年度 5 年目		研修の改善・実施 研修事業全体評価	2007 年度助成実施 2008 年度助成実施 第 5 年度助成選考・決定
2010 年度 6 年目	評価普及事業	次世代リーダー育成事業（5 ヶ年計画） 全体評価事業 フォローアップ研修	2008 年度助成実施 2009 年度助成実施 助成事業 5 ヶ年評価
2011 年度 7 年目		全体共有会	2009 年度助成実施

2. 2011 年度実施内容

2-1 全体共有会

2005 年から 2009 年の 5 年間、本育成事業の助成対象団体に選ばれた 8 団体の中から 4 団体の方に、助成期間 2 年間に実施した「資金的自立計画」の活動実績及び成果について発表いただいた。4 団体に際しては、2010 年度（財）国際開発センターのご協力のもと行なわれた上記 8 団体を対象とするヒアリング調査を参考に決定した。この調査の中で、『サクセスストーリー』として取り挙げられた 4 団体（ACTION、地球市民 ACT かながわ/TPAK、エイズ孤児支援 NGO・PLAS、アジア日本相互交流センター/ICAN）から発表いただいた。

残りの 4 団体についても、コメンテーターとして協力いただき、上記 4 団体の報告に対するコメントや質問、当日参加者の質問を取り次ぐ役割を担ってもらい、参加者全員が理解を深められるよう取り組んだ。また、本育成事業の研修プログラムの講師を担当いただいた国士舘大学の中山雅之氏、上記（財）国際開発センターから小室雪野氏にも参加いただき、より客観的な視点からコメントをいただいた。

全体共有会は、計 4 回開催しその内 1 回は地方にて開催した。2 月 4 日（土）、5 日（日）大阪国際交流センターで催された国際協カイベント（One World Festival）内のイベントとして提案し実施した。

2-2 助成対象者報告会

2011 年度の助成対象者報告会は、以下の日程にて開催した。今年度は、全体共有会と並行して開催した。

・2011 年 11 月 30 日 会場：JICA 地球ひろば

報告者： 召田安宏（（特活）ACE 啓発広報担当）

事務局： 松尾沢子（（特活）国際協力 NGO センター）

松原和紀（（特活）国際協力 NGO センター）

・2012 年 2 月 4 日 会場：大阪国際交流センター 3 階会議室 5

報告者： 森脇祐一（（特活）アクセス-共生社会をめざす地球市民の会 常務理事）

事務局： 松原和紀（（特活）国際協力 NGO センター）

・2012年4月19日 会場：日比谷図書文化館4階 セミナールーム
 報告者：森脇祐一((特活)アクセス 共生社会をめざす地球市民の会 常務理事)
 召田安宏((特活)ACE 啓発広報担当)
 検討委員：高谷忠嗣((公財)庭野平和財団 事務局長)
 星野昌子((特活)日本国際ボランティアセンター 顧問)
 山口誠史((特活)国際協力 NGO センター 事務局長)
 事務局：松尾沢子((特活)国際協力 NGO センター)
 松原和紀((特活)国際協力 NGO センター)

2-3 助成対象者モニタリング

実施日：2011年8月4日
 場所：アクセス - 共生社会をめざす地球市民の会 事務局
 参加：森脇祐一(アクセス - 共生社会をめざす地球市民の会 常務理事)
 松原和紀(国際協力 NGO センター)

【ヒアリング内容】

1) アカウンタビリティの向上と広報強化による会員増加の取り組みについて

ニュースレター・メルマガなど既存のツールを見直すことにより、良い結果を出しつつある。
 会員に対し積極的にメッセージを発信することにより、双方向のコミュニケーションを意識し取り組んでいる。
 個人会員のチャンネルを増やす計画をたて、『子育てを終えた年代の女性』をターゲットに新規会員獲得を目指している。

2) 収入源の拡大について

大学の授業にて、フィールドワークを提案する。帝塚山大学の授業にて実施が決まる。
 現地でのインターンの有償化。(現在検討中)
 企業と連携し、語学留学コースを提供する。(現在検討中)

3) 組織体制について

役員を6名増やした。企業経営者や大学の教授、医師などが新たに加わった。
 役員の機能は以前と変わりなく、積極的な協力を求めている。

2-4 開催実績

	開催日	発表者	コメンテーター及び その他講師	会場	参加者数
第1回	10/28	<全体共有会> エイズ孤児支援 NGO・PLAS 門田瑠衣子	コメンテーター： (特活)CFE 事務局長 渡辺正幸 国土館大学 准教授 中山雅之	東京 (環境パートナーシップ ラザ)	18名

- ・ NGO スタッフ以外に一般の方も参加できるよう企画し、社会人や学生など NGO のマネジメントについて関心を持つ層へも呼びかけ、一般の参加者も募った結果、多くの参加者が集まり、関心の高さを改めて実感することができた。国際協力 NGO の次世代の担い手を育成するという観点において、こうした潜在層に対し NGO マネジメントを学習する機会を提供することも、今後必要なことと思われる。
- ・ 2月4日大阪で開催されたワンワールド・フェスティバルにて全体共有会を実施し、大阪・京都・兵庫など関西エリアの NGO から多くの参加があり、大変盛況であった。また同時に、地方の NGO の組織運営上の課題の深刻さや、NGO のマネジメントを学ぶ機会の少なさなどの意見が多く聞かれ、今後の課題も見出すことをできた。
- ・ NGO スタッフ同士の情報交換や人材交流を促進する機会となった。ネットワークやスタッフ間の横のつながりの重要性を改めて認識することができた。

【課題と今後への展望】

- ・ マネジメントスキル向上を目的とした研修のニーズは高く、特に他の団体の成功事例（組織運営上の課題に対して、どのように取り組んでいるか）に対する関心が強い。また、団体の方向性、将来への見通し等に課題を感じるスタッフを多く見受けられたことから、依然として、組織マネジメントに関する継続的な学びの場を提供していく必要があると思われる。
- ・ 過去5年間の研修プログラムへ参加した団体、及びその団体のスタッフの振り返りの場として企画したが、これら団体からの参加者が非常に少なかった。既に退職している方や他の団体へ転職している方が多く、過去参加者に対する呼びかけが困難になってきていることが考えられるが、それ以外に、過去研修参加間のネットワーキングの弱さも原因と考える。
- ・ 全体共有会は記録化し、閲覧を出来るようにする為ビデオ撮影を行った。ビデオは JANIC ウェブサイトへ掲載し、誰でも閲覧できるような新たな学習の場として提供できるようにする。また、地方の NGO の学習素材としても効果的に活用できるようにする。

以上

アンケート結果

(NGO スタッフ)

- ・ NGO の組織としての脆弱性を痛感していたので、本日のプレゼンテーションは非常に参考になりました。(企業からの転職し、現在の所属団体には2ヶ月間勤務)
- ・ 明確なプランの設定、取り組みの様子を聞くことができ、改めて自団体の内部分析等の必要性を感じた。(次世代リーダー研修参加者：NGO 歴5年)
- ・ 長期にわたる研修(アクションプランの実践)と助成制度を組み合わせることで、実りある研修になったと思う(NGO 歴：10年以上)
- ・ 非常に有用なお話でした。門田さんが取り組まれていることが、まさに自分が直面し感じている問題であったので、とても参考になりました。目の前のことしか見えていなく、もっと広い視野で全体を捉えるようになる必要があると感じた。(NGO 歴：3年)
- ・ 私共の団体は地方にある団体なので、「どうやって自己資金を拡大していくのか」ということに悪戦苦闘している。今回の全体共有会に参加したことで、モチベーションが上がったのと同時に、自団体を見つめ直すことの大事さを感じた。(NGO 歴：3ヶ月)
- ・ 具体的な数値の変化を知ることができて、とても参考になりました。(NGO 歴：6年)
- ・ 他の団体の方のお話はとても参考になりました。早速、事務所に持ち帰り、実行できるものを考えてみたいと思います。(NGO 歴：5年)

(社会人)

- ・ 単なる NGO のイメージや活動紹介ではなく、それらを裏付ける資金調達や財務内容や運営の試行錯誤などを知ることができ、とても有意義であった。実際に、自分が活動するイメージが付きやすかった。
- ・ NGO の活動紹介は素晴らしかった。今後は、米国のように高い評価と待遇を与えられるようになるべきだ。社会的認知の向上による会費や支援金、又は外部からの助成金頼みでは、いずれ立ち行かなくなる。やはり、財・サービスを通じたビジネスモデルの構築が必要であると痛感した。
- ・ 収益のあげ方や運営で苦労した面など、率直な内容が聞けたので非常に参考になった。NGO の運営の楽しさ、難しさがわかった。
- ・ 現在、NGO のボランティアリーダーをしており、(TPAK:伊吾田氏の話は)とても勉強になった。活用できるよう頑張りたいという意欲がわいてきた。
- ・ 自分が運営している NGO のことを、知ってもらうためにはどうすれば良いか、何が必要かを考えさせられた。ウェブサイトツールの効果・分析の話は、興味深かった。
- ・ NGO の具体的な資金調達や支援者を増やす活動について、話をきけてよかった。
- ・ 現在、私が関わっている団体が全く同じような課題を抱えていたので、大変参考になりました。「ボランティア」の活かし方を考えさせられる内容でした。
- ・ 前回に引き続き、助成プログラム参加者の話は、とても興味深く、参考になった。

(写真)



上図: 第2回全体共有会(JICA 地球ひろば)
次世代リーダー研修の概要について説明



上図: 第2回全体共有会 国際開発センター小室氏より5
カ年計画ヒアリング調査の結果について報告
いただく



上図: ワンワールド・フェスティバル。報告者(前方左:
ICAN 井川氏、右:アクセス森脇氏)と参加者との
意見交換の様子



上図: ワンワールド・フェスティバル。
アクセス森脇氏からの発表の様子



上図: 第4回全体共有会(千代田図書文化館)
ACTION 長田氏からの発表の様子



上図: 第4回全体共有会(千代田図書文化館)
星野検討委員よりコメントの様子